



令和4年8月5日（金）に開催しました「第22回 運動遊びプレイリーダー研修会」の様子をレポートします！  
講師は、中村和彦先生と眞砂野裕先生です！

**講師：中村 和彦 先生**  
(国立大学法人山梨大学 理事・副学長)

YBS山梨放送「ゴリラパンダ」ダンス  
NHK 2020応援ソング「パプリカ」ダンスなどを監修



**講師：眞砂野 裕 先生**  
(東京都昭島市立光華小学校 校長)

日本トップリーグ連携機構 JTLプレイリーダー  
ミズノ株式会社 プレイリーダーマイスター

## 講義



山梨大学理事・副学長の中村和彦先生からは、

- ・3つの間「時間」・「空間」・「仲間」を確保し、子どもの遊びを誘導するプレイリーダーの役割が必要
- ・子どもの育ちには発達段階があり、発達時期に応じた子育て・教育が必要
- ・学校教育だけで「学び」が終わらないように、成人期以降も、「おもしろく」「心地よく」「自ら」学んでいけるようにしていくことが重要
- ・4つの生活習慣「体を動かすこと」「よく食べること」「よく寝ること」「排泄すること」のサイクルが重要

などのお話をいただきました。

## 実技【テーマ：ロープやタオルを使って遊ぼう。】

■ タオルを使ってあそんでみましょう。



■ キャッチボール  
一部を結んだり、結ぶ箇所を増やすと投げる時のコントロールが変わってきますのでいろいろ試してみましょう。  
モノを操作するのに必要な「連結能力」「識別能力」「定位能力」の向上につながります。



■ 引っ張り合いゲーム  
綱引きのように引っ張りあったり、タオルを2本使っての駆け引きしたりしてあそびの幅を広げてみましょう。

■ ロープを使ってあそんでみましょう。



■ 縄跳び  
距離感をつかみやすくするために、跳ぶ位置や縄の中央に目印などをつけて、どこを見ればいいのか明確にします。  
縄跳びで子供が縄に入るタイミングは、「縄を追いかけるようにスタート！」がキーワードです。



ボールを使ってキャッチボールしながら縄跳びをしてみたり、縄を2本クロスさせて跳んでみましょう。跳ぶことに他の動作が加わると一気に難易度があがります。